

# 住宅用分電盤 施工説明書

この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。  
安全に関するご注意

## ⚠ 警告

- 相線式 (1φ2W、1φ3W) ・回路電圧に合わせて選んでください。  
感電事故の防止ができません。
- ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。  
火災になる恐れがあります。

## ⚠ 注意

- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
- 単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。  
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。
- 有資格者以外の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対行わないでください。

## 施工上のご注意

### ■施工に関するご注意

- 住宅用分電盤は相線式 (1φ2W、1φ3W) ・回路電圧に合わせて選んでください。  
回路方式 ・単相2線式 (1φ2W) 100V  
・単相3線式 (1φ3W) 100/200V
- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。  
相を間違えると異常電圧が発生します。
- 盤定格電流を越える主幹ブレーカは取付けないでください。

- 導電部の接続ねじは、右表の適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。
- 導電部の接続ねじは、増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。
- 主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- 分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
- 圧着端子・圧着工具はJISマーク品を使用してください。
- 電線に適合した圧着端子を使用してください。
- 主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、及びフリースペースからの仮配線は行わないでください。
- 単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。  
接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。
- 分電盤カバー等は、取り付け後、軽く引いて外れないことを確認してください。

ねじの呼び径	締付けトルクN・m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.0
M8	5.5～7.0

備考：機器端子M5圧着方式の場合は  
2.0～2.5N・m

主幹・分岐 ブレーカの定格電流	電線サイズ
20 A	φ1.6、φ2.0
30 A	φ2.6、5.5～8.0mm <sup>2</sup>
40 A	8.0～14.0mm <sup>2</sup>
50 A・60 A	14.0～22.0mm <sup>2</sup>
75 A	22.0～38.0mm <sup>2</sup>
100 A	38.0mm <sup>2</sup>

主幹ブレーカ・分岐ブレーカ推奨電線サイズ

## 東芝ライテック株式会社

電材機器部

〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル)  
お客様相談センター TEL.0120-66-1048  
ホームページアドレス <http://www.tlt.co.jp>

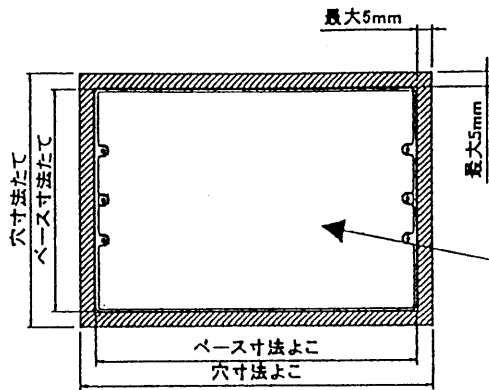


# 東芝埋込形住宅用分電盤取付工事説明書

お買いあげいただきましてありがとうございました。  
 この分電盤は木質系壁構造専用の埋込形です。 ※コンクリート系壁構造には取付けできません。  
 分電盤の取付けにつきましては、下記の点にご注意して、正しく施工して下さい。

## 1. 壁面の穴開け寸法について

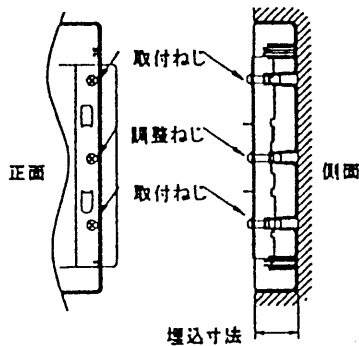
図1



ベース寸法より上下左右に各5mmまでの穴開け加工をしてください。  
 カバー取付時に最大上下11mmずつ、左右22mmずつ穴あき部を  
 かかせます。

分電盤ベース寸法 よこ×たて	穴開け寸法の目安 よこ×たて
375×308	385×318
445×308	455×318
515×308	525×318

図2



①ベースの埋込寸法が58mmを超える場合は付属の取付・調整ねじに  
 交換してください。

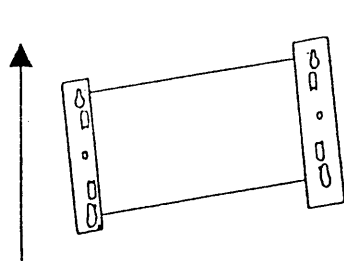
ベース埋込寸法	取付ねじ
48mm～58mm	M5×30
58mm～78mm	M5×50(付属のねじ)

②取付ねじだけでは壁面に対し内部機器の支えが弱く、カバーがうまく  
 取付けられない場合があります。その場合は、調整ねじで内部機器を  
 支えてください。

ベース埋込寸法	調整ねじ
48mm～58mm	M5×30
58mm～78mm	M5×50(付属のねじ)

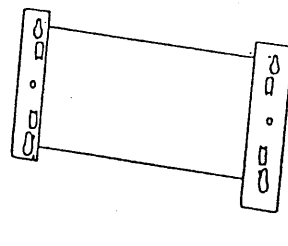
## 3. 内部機器の角度調整について

図3



内部機器が左下がりの場合  
 内部機器の左側を持ち上げ  
 ながら取付ねじを締めて  
 ください。

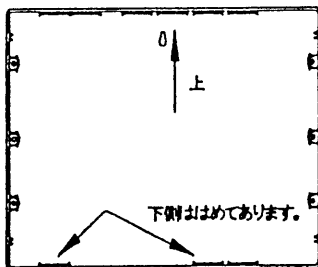
図4



内部機器が右下がりの場合  
 内部機器の右側を持ち上げ  
 ながら取付ねじを締めて  
 ください。

## 4. 配線穴プッシュについて

図5



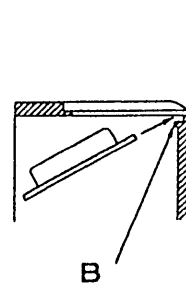
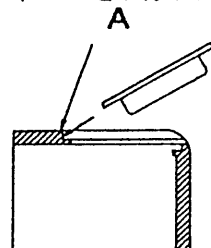
上側側面のプッシュは同梱してあります。  
 下側側面の配線穴はふさいであります。

電線の引き回し順序に応じて配線穴をふさいでください。

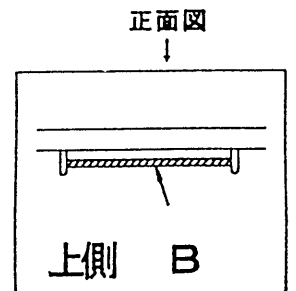
a. 電線をベース通してから  
 配線穴をふさぐ場合  
 (ベースを取付ける前)

図6

b. ベースを取付てから  
 電線を通して配線穴をふさぐ場合  
 (ベースを取付けた後)



側断面図  
 ← 正面図



※A部凹部にカドを合わせて  
 押し込んでください。

※B部凸部より側面側にカドを  
 合わせて押し込んでください。